

「わが家のかいじゅう」

横道 灯真

ドンドンドンドンドンッ！

しずかだった家に

かいじゅうが帰ってきた

ぼくとのたたかいが始まると

たたいてけって、物を投げて

容しやなくおそいかかってくる

思い通りにならないと

大声で泣く、さけぶ

夜中もたまに目を覚まし

泣きじゃくっておこされる

ぼくはいつもけられてばかり

痛くてもがまんばかり

でも不思議なことに

かいじゅうへの不満はあまりない

自分でもよく分からないけど

「ちっちゃな」かいじゅうだからしょうがない

たまーにおかしを分けてくれる

たまーにだきついてくれる

そんなかわいいところもあるかいじゅう

だいじなだいじなぼくの弟